14 西野正人（自民クラブ）

防災（集中豪雨）対策について問う

問　被害発生防止体制について問う。

答　情報収集や危険箇所の巡回などを行い、発生を防止しています。

産業育成の現状と課題について問う

問　融資あっせん制度を拡充すべきだと考えるが、市の見解を問う。

答　限度額の引き上げや返済期間の延長など新たな制度を検討しています。

クリーンセンターごみ処理施設建て替え（広域化）について問う

問　地元から理解を得るための方策について問う。

答　丁寧な説明をしていくとともに、説明会の中で出た意見を受け止め、広域化を進める上で生かしていきたいと考えます。

15 鵜澤敏子（民主市民ネットワーク）

市民から信頼される病院機能を実践するための市立病院第2次改革プランについて問う！

問　救急医療体制の充実に向けた取り組みは。

答　救急の専門医を確保し、全科対応出来る救急科を正式な診療科に位置付けると共に、救急室等の充実が必要と考えます。

問　高齢化社会における今後の対応はどうか。

答　地域の医療機関や介護施設等との連携による地域包括ケアシステムでは、急性期病院の役割を担っていくことが重要と考えます。

問　病院機能向上基本計画に基づいた社会教育センター跡地の活用を問う。

答　センター跡地と院内未利用スペース600平方メートルには救急、予防健康増進、周産期等の展開に活用することを考えています。

16 古賀壮志（自民クラブ）

市立病院とその周辺整備について

問　病院が抱える現状と課題について問う。

答　経営状況については若干の好転が見られ、病床利用率と救急車受け入れは横ばいか若干の後退、紹介率及び逆紹介率は一気に改善が図れるものではないと認識していますが、信頼関係の醸成を図り、改善に努めます。

問　第2次改革プランと病院機能向上基本計画について問う。

答　第2次改革プランの基本姿勢は、市民や地域のニーズに応える病院になること、第1次改革プランの継承の2つです。また、病院機能向上基本計画にある救急医療、高齢者対応、がん医療、周産期等は、第2次改革プランの重要項目としても位置付けられており、推進します。

17 菅原直志（民主市民ネットワーク）

日野市の防災体制を問う

問　沿道建築物耐震化の課題を問う。

答　耐震診断を受けていない建築物への指導・支援や、建物所有者の費用負担が生じる補強、改修、建て替えが課題です。

問　本庁舎を耐震補強するに至った判断を問う。

答　耐震指標により耐震補強が可能なこと、震災時の拠点として早急な対応が必要なこと、建て替えは、より大きな事業費が必要なことから、耐震化すべきと判断しました。

地域のがん対策を進めよう（その2）

問　在宅療養、在宅での看取りの方向性を問う。

答　今後、日野市在宅高齢者療養推進協議会の議論も注視しながら、方向性や環境整備について、検討していきます。

18 中嶋良樹（民主市民ネットワーク）

健康寿命をのばそう！～ロコモ予防～

問　健康寿命を延ばす取り組みについて問う。

答　運動習慣を定着させる事業を強化し、楽しんで歩ける、運動のしやすいまちづくりを進めます。

市民のためのまちづくり戦略を！

問　地域戦略室が取り組むべき、まちづくりのテーマについて問う。

答　少子高齢化、生産年齢人口の減少や大手企業・工場の撤退によるまちづくりなどが大きなものとなりますが、今後明確化します。

問　限られた財源の中でどのように事業を行うのか問う。

答　持続可能な行財政運営・都市経営の感覚を念頭に戦略を立て、協働を視野に入れた効果的な選択と集中を行います。

19 古池初美（民主市民ネットワーク）

ミニバス、ワゴンタクシーの更なる拡充を

問　交通空白地域である南平5丁目の改善のため、道路拡幅は出来ないか。

答　早急な対応は難しいですが、長期的な課題として調査研究します。

子ども条例の推進に向けて

問　条例の趣旨がどのような施策に生かされているのか問う。

答　児童館や子ども家庭支援センターの事業をはじめ、ひのっ子すくすくプランの150項目の施策がこの条例を理念としています。

問　子どもが安心して安易に相談出来、救済出来る体制の現状を問う。

答　関係機関で協議会を組織し、身近な立場と第三者的な立場での相談体制を整えています。

20 谷和彦（自民クラブ）

未来を生きるひのっ子の学びを支えるICT環境の充実を！

問　平山小と四小に1人1台導入されたタブレット型パソコンの成果について問う。

答　授業のまとめの時間などで、児童一人ひとりの理解度に合わせた問題を出せることで、基礎・基本を効果的に習得することが出来ました。

問　特別支援教育でのタブレット型パソコンの導入について問う。

答　音声や言語での理解が難しい児童・生徒には有効と考え、平山小以外の特別支援学級にもICTの活用を推進していきたいと考えています。

問　メディアコーディネーターの現状について問う。

答　学校への訪問支援や指導力向上のための研修会を開催しています。

21 馬場賢司（公明党）

集中豪雨など天候の急変時における危機管理体制について

問　エリアワンセグを活用した防災情報発信について、考えを問う。

答　いち早く正しい情報を伝達することを最重点に見据え、有効性や必要性、導入方法等を調査研究します。

B3スポーツ（スケートボード等）などの今後の振興について

問　市の考えを問う。

答　専用施設は直ちに整備できる状況にはありませんが、若者世代のスポーツ振興や場の確保等、振興計画の中で大切な要素として取り上げます。

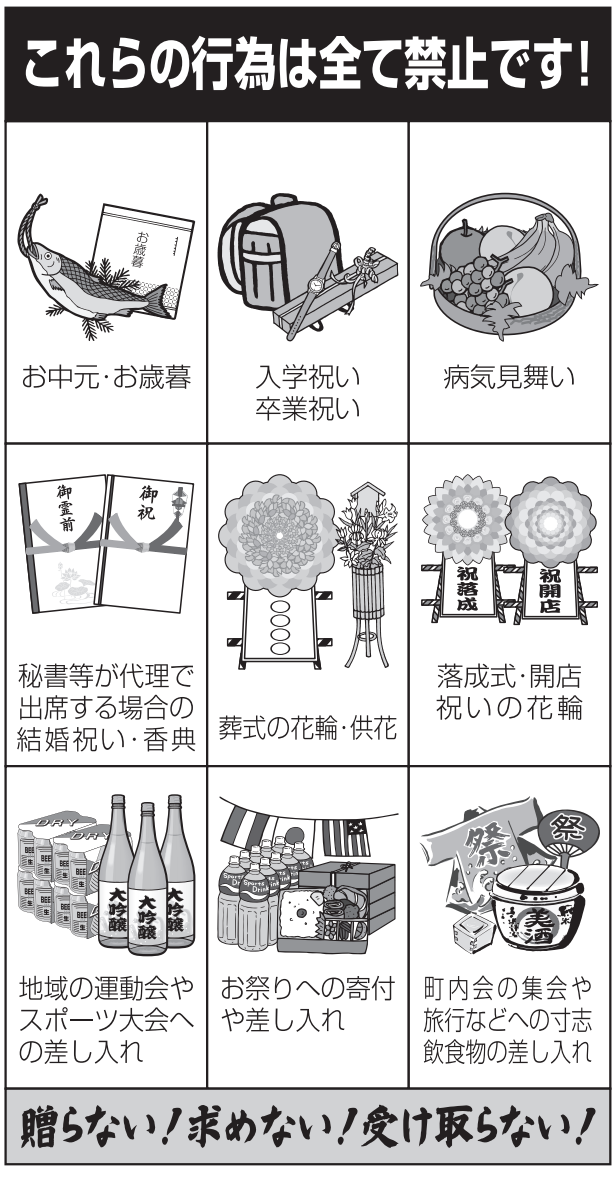
問　多摩川グラウンドの土手部分にスロープと駐輪場の設置が必要では。

答　利用者の安全のため、国に要望していきます。

政治家の寄付は禁止
有権者が求めることも禁止

政治家が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは、時期や理由を問わず、法律で禁止されています。違反すると、処罰されます。また、有権者が寄付を求めることも禁止されています。

これらの行為は全て禁止です！



お中元・お歳暮
入学祝い 卒業祝い
病気見舞い
秘書等が代理で出席する場合の結婚祝い・香典
葬式の花輪・供花
落成式・開店祝いの花輪
地域の運動会やスポーツ大会への差し入れ
お祭りへの寄付や差し入れ
町内会の集会や旅行などへの寸志飲食物の差し入れ

贈らない！求めない！受け取らない！

請願の審議結果

今定例会では、4件の請願が新たに提出され、所管の常任委員会に付託しました。

委員会では継続審査の1件と合わせ慎重な審査を行い、定例会最終日の本会議において、その審査結果を踏まえて審議を行いました。

結果は次の通りです。

■不採択2件

▼垂直離着陸輸送機CV22オスプレイの横田基地配備と沖縄をはじめ日本全土での低空飛行訓練に反対する、日本政府への意見書提出を求める請願

▼年金2・5％の削減中止を求める請願

■継続3件

▼百草谷戸地区にある「公園予定地」に公園整備を求める請願

▼東芝跡地の巨大物流センター建設を中止し、新たな企業の誘致を求める請願

▼来年4月の継続家賃値上げ中止、高家賃引き下げを求める意見書提出に関する請願

意見書

今定例会で可決された意見書の要旨は次のとおりです。なお、全文は市ホームページでご覧いただけます。

■容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書

容器包装リサイクル法により社会はリサイクル優先に偏り、リユース容器が激減して容器包装がいまだに使われているのが実態です。よって、次のとおり法改正し、発生抑制と再使用を促進する法律の制定を求めます。

①リサイクルコスト低減のために分別収集・選別保管費用の製品価格内部化を進めること②レジ袋使用量大幅削減へ有料化などの法制化を検討③学校牛乳の瓶化を促進する等、さまざまな環境を整備すること

【意見書提出先】内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣、消費者庁長官、衆議院議長、参議院議長

■大規模地震等災害対策の促進を求める意見書

今後の発生確率が極めて高く、甚大な被害が懸念される「首都直下地震」「南海トラフ巨大地震」に対して、国を挙げた万全の対策が急務です。さらに近年増えている局地的豪雨や台風等による風水害は大規模な被害をもたらしています。そこで、総合的な防災・減災、国土の強靭化を定める基本的理念が必要であり、次の事項について早急な対策を強く要望します。

①東日本大震災の教訓を踏まえ、防災・減災対策を強化②首都直下地震対策の推進③南海トラフ巨大地震対策に取り組むこと

【意見書提出先】内閣総理大臣、国土交通大臣、国土強靭化担当大臣

■垂直離着陸輸送機CV22オスプレイの横田基地配備検討に関し、周辺住民への配慮を求める意見書

米空軍仕様の垂直離着陸輸送機CV22オスプレイの配備先について、米軍横田基地が有力な候補地として日米両政府間で協議中であるとの報道があり、近隣自治体関係者は混乱しました。今後は、政府・都・関係市町・米軍の緊密な連携と情報の取り扱いが求められます。当市域は横田基地の空路になっていて、オスプレイの配備は市民生活に大きな影響を与えます。

よって、オスプレイの配備検討については、周辺自治体と住民生活への十分な配慮とともに、不安解消に努めるよう求めます。

【意見書提出先】内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣